

令和5年度事業報告

I 施設の概要

1 施設概要

施設種別	医療型障害児入所施設
敷地面積	61,665.33 m ² の一部, 約 6,000 m ²
延床面積	3,869.31 m ²

2 事業内容

医療型障害児入所（医療法及び児童福祉法）	定員 50 人
療養介護（障害者総合支援法）	
医療型短期入所（障害者総合支援法）	空床利用
医療型特定短期入所（障害者総合支援法）	定員 4 人
外来診療、リハビリ	
埼玉県医療的ケア児等支援センター・地域センターカリヨンの杜の受託運営 （医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律）	

II 事業の実施概況

1 入所者数の推移

令和5年度の1日当たり長期平均在院者数は38.0人（令和4年度35.5人）で前年度と比べ2.5人増加した。また、短期平均在院者数は4.3人（令和4年度4.3人）で、ほぼ同水準であった。

令和5年度中に、新規の長期入所者は6人で、内訳は契約が5人（児童が4人、療養介護が1人）で、措置が1人だった。また退所者が2人おり、内訳は5月に死亡退所、9月に施設移動だった。退所者はいずれも措置である。

【一日当たりの利用者数の推移】

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	50床	
長期入所	37.0	36.3	37.1	37.5	37.9	37.9	37.3	38.5	38.6	39.0	39.4	39.2	38.0
短期入所	4.5	4.6	4.9	5.8	4.8	4.8	3.8	4.0	4.1	2.4	4.0	3.9	4.3
計	41.5	40.9	42.0	43.4	42.8	42.7	41.1	42.5	42.6	41.4	43.4	43.1	42.3
稼働率	83.0	81.7	84.0	86.8	85.5	85.4	82.1	84.9	85.3	82.8	86.9	86.1	84.6



2 長期入所

(1) 長期入所者の概況

令和6年3月31日現在の長期入所者数は40人（男性24人、女性16人）であり、入所形態は、契約入所28人、措置入所12人である。

年齢別では、未就学児（5歳まで）が12人であり、6歳～12歳が22人、13～15歳が1人、16歳～18歳が2人となっている。19歳以上が3人、平均年齢は10歳である。

居住地別では、さいたま市14人、さいたま市以外の埼玉県16人、東京都9人、千葉県1人であった。

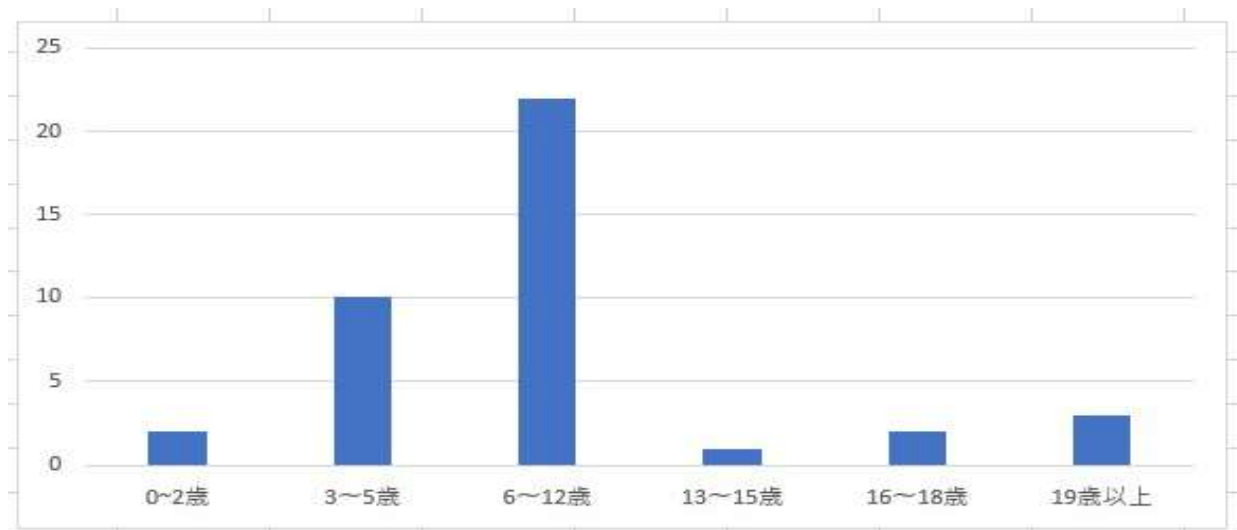
超重症児スコアについては、人工呼吸器管理22人、気管切開32人、経管栄養40人となっている。

長期入所児が、体調不良で入院加療を要する場合は、埼玉県立小児医療センター、埼玉医大総合医療センター、草加市立病院に救急搬送している。令和5年度の搬送件数は11件だった。

【入所者数】（令和6年3月31日現在）

合 計	40人	男	24人	女	16人
-----	-----	---	-----	---	-----

【年齢別】



【入所形態別】

契約入所	28人	措置入所	12人	一時保護	0人
------	-----	------	-----	------	----

【居住地別】

埼玉県	16人	11市 1町	上尾市2、朝霞市2、加須市1、上里町1、春日部市1、川口市2、川越市1、北本市1、久喜市2、東松山市1、八潮市1、吉川市1
さいたま市	14人	4区	岩槻区9、桜区1、中央区3、緑区1
東京都	9人	3区3市	足立区2、北区2、中野区1、調布市1、三鷹市2、八王子市1、
千葉県	1人	1市	旭市1

【超重症児スコア】

9点以下	2人
10～25点未満（準超重症児）	12人
25点以上（超重症児）	26人

【呼吸・栄養の状況】

人工呼吸器	18人	気管切開	29人	経管栄養	37人
-------	-----	------	-----	------	-----

(2) 入所者の療養生活

病棟全体が「生活の場」としての役割が果たせるよう、各種活動、行事等を多職種で支援を行った。入所児一人一人の個性を尊重し、成長・発達につながるよう支援を行った。

家族のケアの介入についても面会時に吸引などの医ケアの他、食事や排泄、入浴などのケアを家族が行えるようにするなどし、家族と職員で話し合いの機会を設けた。病状の重い子については個別支援会議や家族面談の際に急変時の対応について家族の意向を確認した。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行後も引き続き感染防止対策として、ほぼ従前の対応で行うが、面会については最大1時間までに面会時間を緩和した。その後、院内感染拡大防止もあり、面会の制限をした時期もあったが、定期的に写真を同封した手紙を送付したり、メールを通して、保護者に日常生活の様子を情報提供した。

学齢児に対しては、教育の機会が保障されるよう特別支援学校との緊密な連携を図った。

療育部を中心に日常生活が充実し、季節感が感じられるように花火大会、誕生会などの病棟行事、園芸活動、さらに施設全体行事として夏祭り、クリスマス会等を実施した。

3 短期入所

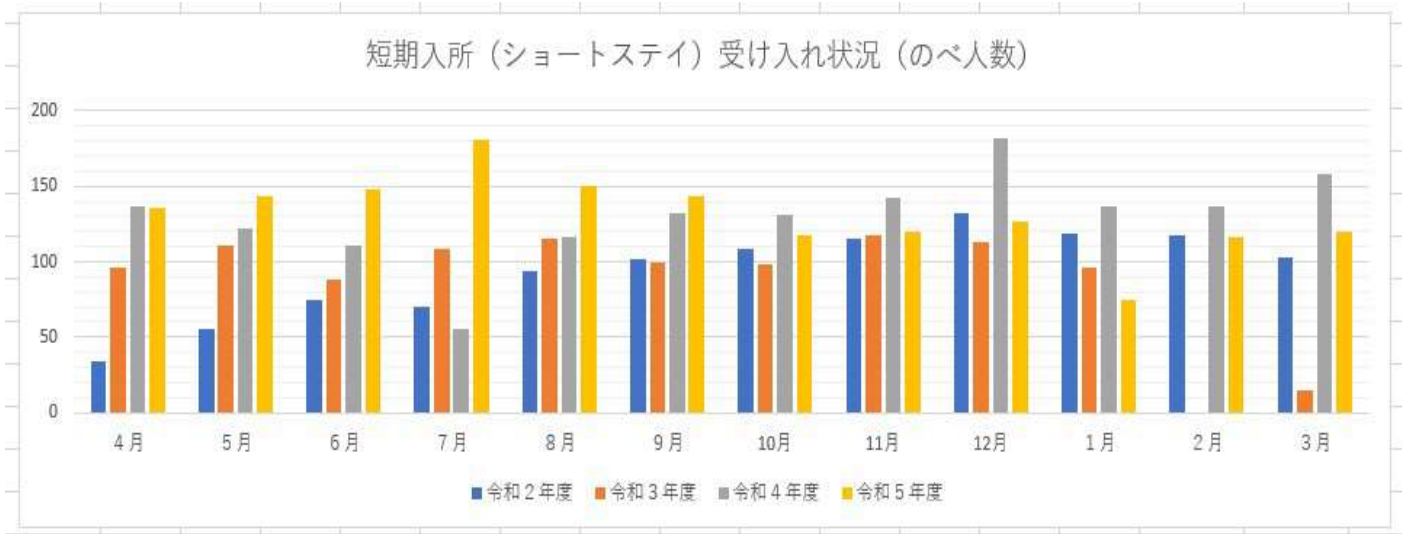
(1) 短期入所の受け入れ状況

令和6年1月に職員の新型コロナウイルス感染者が増えた影響で、一時的に一定期間受け入れを停止したため、受け入れ数は減少に転じたものの2月以降、V字回復している。

それ以外は、新型コロナウイルス感染症の影響もほぼ受けずに、一月当たりの受け入れ件数も100人を超えるほどに回復している。

短期入所（ショートステイ）受け入れ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	34	55	75	70	94	102	109	115	132	119	117	103	1,125
令和3年度	96	111	88	109	115	99	98	117	113	96	0	15	1,057
令和4年度	137	122	111	55	116	132	131	142	182	137	137	158	1,560
令和5年度	136	143	148	181	150	143	117	120	126	75	116	120	1,575



(2) 特定短期（にじルーム）の利用状況

令和5年度の特定短期入所利用者の述べ総数は503名で新規利用者は4名であった。

1月に新型コロナ感染拡大に伴い8日間、述べ21名の利用のお断りを行ったが、それ以外は土曜日の利用も含め計画通りに実施できた。

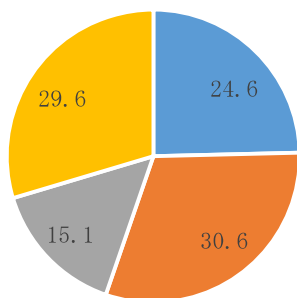
利用者の特徴としては、昨年度予測したように高校卒業した方の利用回数の増加が挙げられる。

年齢別のグラフを見てもわかるように、19歳以上が約30%を占めており、そのほとんどの方が判定スコアの超重症児に分類される。そのため、体が大きく移乗や体位交換に人手を多く必要とし、更に複雑な医療的ケアを行う状況により、1人の利用者に要する時間が長時間となる場合が増加した印象がある。

また医療的ケアのない利用者も多く、超重症児から肢体不自由児の摂食介助まで様々な状態の方に対応する必要があり、スタッフも幅広い知識・技術が求められる。

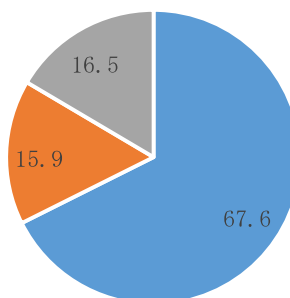
活動としては、昨年に引き続きごろりんアートを行っている。また、新たな取り組みとして個々の年齢、状態に合わせた制作を実施し、デイサービス「にじ」の作品展として1階のホールに展示スペースを設け、多くの皆さんに見てもらおう機会を作っている。

年齢別述べ人数



■ 0歳～5歳 ■ 6歳～12歳 ■ 13歳～18歳 ■ 19歳以上

判定スコア別述べ人数



■ 超重症児 ■ 準超重症児 ■ その他



新作ごろりん
アート



みんなの
力作です



4 外来患者の状況

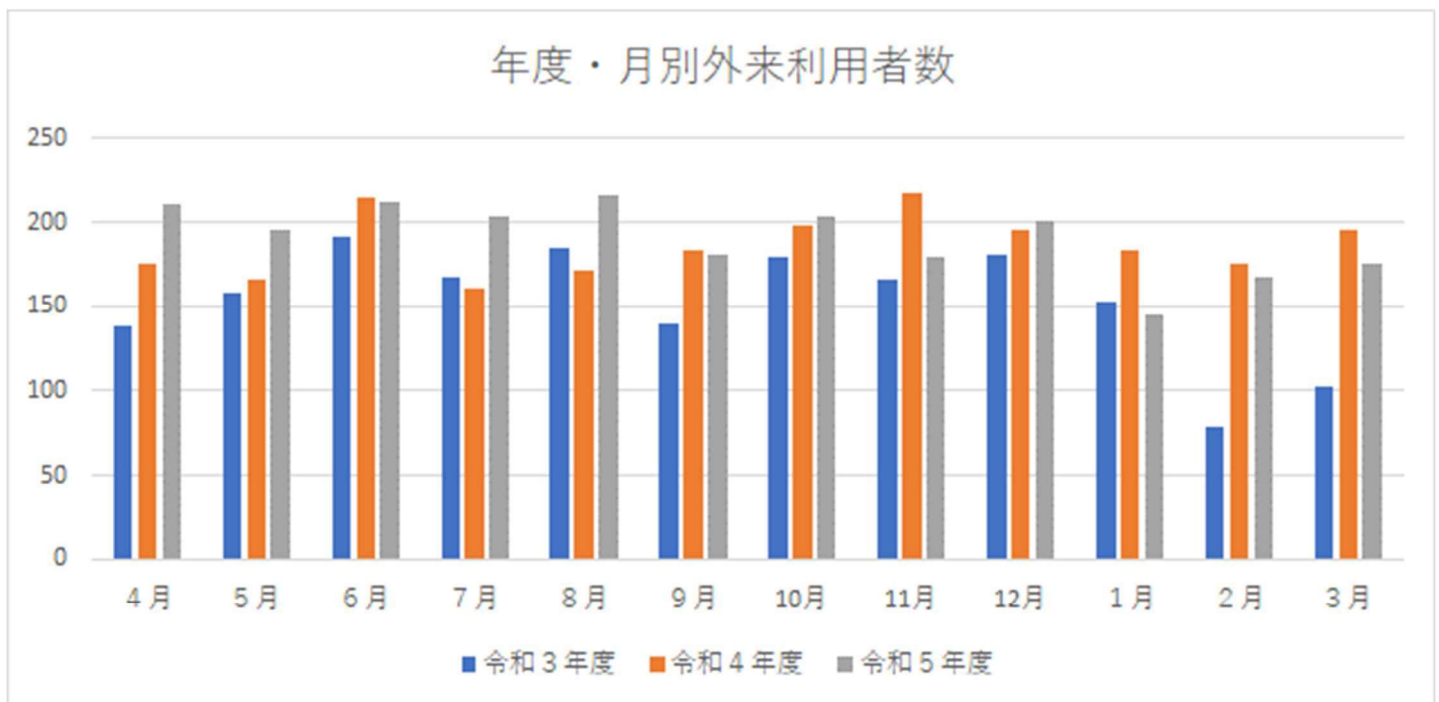
令和5年度の外来患者数は延べ2,293人(令和4年度2,238人)で前年度と大きく変わりはありませんでした。

令和5年5月に新型コロナウイルスは「5類感染症」に変更され、面会等の解除や短期入所の受入れも広がりを見せたが、夏休みが明けた9月頃より利用者の家族・兄弟の新型コロナウイルス感染やインフルエンザウイルス感染者が増えたことから、前年度に比べ利用者が増えない月も散見された。

令和6年1月には長期入所者が3名新型コロナウイルス感染者となり、病室の1室を隔離の部屋とする対応をするなど感染拡大を防ぐために、短期入所者の受入れを2週間ほど制限した。また、この期間の外来リハビリテーション科の予約枠を制限した。

年度患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	138	158	191	167	185	140	180	166	181	153	78	103	1,840
令和4年度	176	166	215	161	172	183	198	218	195	183	175	196	2,238
令和5年度	211	196	213	203	217	181	204	179	201	145	168	175	2,293



4 埼玉県医療的ケア児等支援センター・地域センターカリヨンの杜（埼玉県受託事業）

（1）概要

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（以下、「医療的ケア児等支援法」という）に基づき、6月8日より埼玉県からの委託を受けて地域センターカリヨンの杜として事業を開始した。

担当地域は、さいたま市、川口市、戸田市、蕨市の4市で、稼働日時は年末年始を除く平日の9時から17時まで。

それに伴い、ノートパソコン、プロジェクター、ウェブカメラおよびマイク、固定電話を整備した。

業務内容は、当事者やその家族等からの相談支援をはじめ、家族へのアドバイス、市町村や事業所等の支援機関への支援、県センターと連携し研修会の実施や参画、定期ミーティングの実施、地域センター同士の情報共有、情報交換等である。

（2）実施状況（令和5年6月8日から令和6年3月31日まで）

- ・平日の9時から17時まで電話・メール・来所による相談を受け付け、相談内容に応じて関係機関との調整をおこなった
- ・相談内容によって、医師や理学療法士に相談できるサポート体制を取った。

相談件数

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	7	11	7	2	9	9	8	4	5	4	66
内訳	電話	6	10	6	2	7	9	6	3	5	57
	メール		1			2		1		1	5
	来所	1		1			2				4
	その他										0

〈主な相談内容〉

- ・短期入所先を探している
- ・他県からの長期入所希望
- ・日中一時預かりについて
- ・就学相談

（3）課題と今後について

- ・地域の医療的ケア児等コーディネーターとの連携強化。
- ・家族サロンの必要性が見えてきたため、開催に向けて地域センター内で協議し準備していく。
- ・医療的ケア児等コーディネーター同士のつながりを構築。
- ・事例を共有しながら、医療的ケア児等コーディネーターや支援者の資質向上を目指す。
- ・担当地域との協議の場は、地域における医療的ケア児等の支援の現状や課題がわかる重要な場のため、積極的な参加や開催をおこなっていく。
- ・地域センターカリヨンの杜周知のため、情報発信の強化を行う。

Ⅲ 法人・施設の運営状況

1 理事会・評議員会の開催状況

【理事会】

第1回 理事会	令和5年6月15日(木) 16:00～	理事 4名 監事 2名	① 令和4年度事業報告及び決算について ② 社会福祉法人桜楓会 理事・監事の選任について ③ 定時評議委員会の招集について
第2回 理事会	令和6年3月7日(木) 16:00～	理事 5名 監事 2名	① 令和5年度補正予算(案)について ② 令和6年度事業計画(案)について ③ 令和6年度年度予算(案)について ④ 就業規則の改正について ⑤ 細則1 非常勤職員就業細則の改正について ⑥ 評議員選任候補者の推薦について

【評議員会】

第一回 評議員会	令和5年6月30日(金) 14:00～	評議員 5名 監事 2名	① 令和4年度決算について ② 社会福祉法人桜楓会 理事・監事の選任について
-------------	------------------------	-----------------	---

【評議員選任・解任委員会】

第一回 委員会	令和6年3月7日(木) 17:30～	委員 3名	① 評議員(候補者1名)の選任について
------------	-----------------------	-------	---------------------

2 職員状況

(1) 採用、退職の状況

- ・採用 薬剤師1名、看護師7名、生活支援員4名、事務1名合計13名の職員を採用した。
- ・退職 薬剤師1名、看護師5名、生活支援員5名、事務員1名 合計12名の職員が退職した。

(2) 職員数(令和6年4月1日現在)

職種	常勤	非常勤	合計
医師	2	3	5
看護師	42	11	53
理学療法士	2	0	2
薬剤師	2	1	3
生活支援	15	3	18
管理栄養士	1	0	1
保育士	2	0	2
児童指導員	1	0	1
児童発達支援管理責任者	1	0	1

社会福祉士	2	0	2
臨床検査技師	0	1	1
事務	6	0	6
合計	76	19	95

3 各種委員会の活動

名称	目的・内容	開催回数
医療安全管理委員会	医療安全対策の総括、安全管理体制の確保・推進	12
感染防止対策委員会	感染防止対策の推進	12
栄養管理委員会	入所児の栄養管理	12
褥瘡対策委員会	褥瘡予防対策の推進	12
教育委員会	職員研修の企画・立案	6
災害対策委員会	施設の防災管理、避難訓練等の実施	4
個人情報管理委員会	個人情報管理の運用基準の検討等	3
行事・レク委員会	施設行事、レクリエーションの企画・立案	10
虐待防止委員会	施設内虐待・子ども虐待防止に対する職員の意識啓発と研修の企画	2
安全衛生委員会	職員の安全と健康の確保、快適な職場環境の整備	12
利用者調整地域連携委員会	利用者の入所等に関する情報共有及び他機関との連携に関する報告、協議	12
放射線安全管理委員会	医療被ばくの適正管理	1
医療ガス安全管理委員会	医療ガスに係る安全管理と患者の安全確保	1
行動制限最小化委員会	利用者の行動制限に関する検討と研修の企画	2
薬事委員会	医薬品の管理と適正使用に関すること	4
倫理委員会	倫理的配慮による患者の人権及び生命の擁護	1
学校施設連絡会	特別支援学校との連携に関すること	2

4 各種行事の実施状況

5周年記念式典 令和5年5月20日(土) 第一部10:00~11:30 出席者45名
 主な出席者 大野元裕埼玉県知事
 岩中督埼玉県立病院機構理事長
 山口京子蓮田市長
 今井絵理子参議院議員
 第二部13:00~14:15 出席者19名
 主な出席者 池田宏宮代特別支援学校長
 神田佳明埼玉はるかぜ特別支援学校長

夏まつり 令和5年7月26日(水) 参加人数108名

5 新たな事業の検討

これまでの施設経営を踏まえた、次のような新たな課題への対応が必要と考える。

- (1) 18歳を超えた医療的ケア者への対応
- (2) 入所者・利用者の社会参画、感動体験の充実
- (3) 入所者、利用者の保護者の生活の質の向上

以上の「カリヨンの杜」の課題解決に資することができ、令和3年9月に施行された「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の目的、理念に沿った具体的な事業について、令和4年8月から月1回の頻度で施設関係者、家族代表、障害児者支援関係者等で検討会議を重ねて来た。

IV 新型コロナウイルス感染症への対応について

入所者への対応等

- ・令和5年5月8日から5類感染症へ移行したことにより、6月12日から面会時間を15分から1時間以内に変更となった。また、ガウンの着用と検温の実施を無しにした。

施設の対応等

- ・会議室及び休憩室等のソーシャルディスタンスの確保

入所者及び職員等のPCR検査・抗原検査

- ・発熱・体調不良の職員への検査実施
- ・頻回検査の実施（市から配布された抗原検査キットを職員に配布）
- ・短期入所の事前検査（抗原検査）
- ・面会時の事前調査（ワクチン3回未接種者）

ワクチン接種

- ・職員及び委託職員に実施（主に6, 7回目、令和5年9月10月）
- ・入所者の接種